

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(株式会社 長野ダイハツモータース)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.11.30様式改定】

カテゴリー	チェック項目	取組レベル	【非該当】の場合 選択入力	【予定】の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
1	【差別的禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本			採用・昇進・異動等のあらゆる職場環境において差別を行わない体制・教育を構築済。 自社独自の相談窓口を設置済。 厚労省の「精神・発達障害者しごとサポート養成講座」を開催。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本			社内にハラスメント禁止を啓発する掲示を実施。 外部及び自社独自の相談窓口を設置済。 社員に対し、労務リスクに関する勉強会を年4回実施。					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本			電子による勤怠システムを導入済。 定期的に管理職が異常値の有無を確認し指導。 36協定を締結している。								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本		【予定】	メーカーからの留学生等の受け入れを検討。 あわせて差別禁止等を規定化。				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本			指定産業医同席のもと、安全衛生委員会を労働組合とともに毎月開催し、他販社や異業種での事故案件を共有。			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本			ストレスチェックを導入済。 社員がメンタルヘルス発症時には、かかりつけ医のアドバイスに従った復職プランを実行。			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本			法令を遵守し、高齢者や障がい者の採用を実施。 女性営業職を登用。 女性の制服を廃止し、ビジネスカジュアルを導入。 育休明けの時短勤務期間の延長。				4.5	5.1 5.5 5.c			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本			職種毎のキャリアマップとそれに基づく能力開発及び研修体制を整備。				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本			法改正に対応した各種規程の改訂を随時実施。					5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ			補助金を活用した健康増進実施。 産業医による、インフルエンザの集団予防接種を実施。			3					8									
11	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本			メーカー及び自主監査にて、マニフェストに従った対応を定期的に確認(メーカーの環境監査合格済)											11.6	12.4		14.1			
12	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本			Zeroboardを活用し、自社のエネルギー使用量を把握し抑制に取組中。							7.3						13				
13	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本		【予定】	カーボンニュートラルに向けた取組として、新たな店舗設計を計画中。							7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本			把握の上、適切な保管・使用・処理を実施。 塗料については無体な水性品を採用。 防錆塗料等の無害品への切替中。			3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
15	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本			メーカーとともに、啓発活動を社内掲示し周知徹底。 長野県、長野市、ブナの森を育てる会、弊社4者での「生物多様性 パートナーシップ協定締結」						6.6							13		15		17
16	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本			廃止した制服400点を回収しリユース会社へ、買取金を長野県 「信州こどもカフェ応援プロジェクト」に寄附。 汚れたサービスウェアをリメイクし、年6回行う歩道の清掃活動での ゴミ袋として再利用。		2.1										12.5					
17	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレ ン ジ			節水の啓発活動を取組中。						6.4 6.6											
18	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得してい る	チャレ ン ジ		【予定】	今後取得を検討。			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレ ン ジ			本社および店舗周辺のごみ拾い活動を定期的に開催。 HPなどで公開。												12.6					
20	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレ ン ジ		【予定】	太陽光発電の設置を検討中。							7.2						13				
21	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレ ン ジ			会議資料などデータで配布、ペーパーレス化に取組中。								8				12	13		15		
22	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本			規程やマニュアルにおいて徹底。																16 16.5	
23	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本			規程やマニュアルにおいて徹底。 独占発注の禁止と見積の徹底。																16	
24	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	【非該当】		知的財産の保有無し								8.2 8.3	9								
25	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本			個人情報保護に関する基本方針と研修体制を策定し、 適切な管理を内部監査にて随時実施。																16	
26	【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレ ン ジ	【非該当】		該当なし																16	
27	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系へ の悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）に ついて認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレ ン ジ			下請法の社内徹底・遵守やパートナー企業様との意見交換 を通じて、常に認識を共有。					5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5～追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本		【予定】	2025年構築宣言を予定。			3					8	9	10							17

チェック項目		取組 レベル	【非該当】 の場合 選択入力	【予定】 の場合 選択入力	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載) (【非該当】を選択した場合はこちらに理由記載)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																						
製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本			メーカー基準による納車確認シートにて、説明の有無を随時確認。 ダブルチェック体制など、安全性提供を実施。			3.9								12.4						
	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本			補償内容の熟知と適切な運用。 市場技術報によるダイハツ車の品質改善や整備性の向上に積極参画を推奨し、社内表彰化。								9									
	【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ			軽自動車を中核とするダイハツ車は、環境配慮に優れており、その拡販に取組中。					6						12	13	14	15			
	【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ			2023年4月より、社会問題を解決すべく弊社独自の活動として、お客様に活動寄附先を選択していただく、S(信州)D(ダイハツ)G(ギフト)s(車検)を展開し取組中。 2024年5月より、社会貢献型職域販売サイトクロスドマート提携契約。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地域貢献、社会貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本			長野県との地域見守り協定を締結。 国土交通省より「関東地方整備局長表彰」(年6回歩道の清掃を実施、道路の維持管理での功績)				4				9		11	12		14	15		17	
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ			SDG車検による寄附及び人的支援活動。 長野県より「信州豊かな環境づくり県民会議表彰」				4						11		13	14	15		17	
	【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ			軽トラ市を盛り上げ、地産地消や地場活性を実体験する機会を創出。							8	9		11	12	13					
組織体制	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本			常に標榜し、朝礼時唱和することで社内で共有。 年1回全社員決起総会を開催し、経営層から経営理念及び経営方針を表明している。							8	9								17	
	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本			研修や他販社事例をすぐに共有し、社内における発生抑制に取組中。															16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本			環境だけでなく、営業等での影響も把握し、各部門に責任者を設置。																16	
	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本			CS調査結果を毎月確認し、店舗や関連部門へフィードバックし、再発防止や改善を即時実施。															16	17	
	【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ			職場の安全衛生へのリスクマネジメントとして安全衛生委員会の開催等、各分野にて整備。																16	
	【社会的責任】 ・CSR（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ			メーカー方針に準拠する形式で、女子サッカーを積極支援。																16	
	【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ			BCPを策定済。2024年より火災による避難訓練のほか、地震による避難訓練も実施。 メーカーの安否確認システムに全社員が登録、災害時社員の安否確認を実施、また年2回の安否確認テストも行っている。 2023年より、消防署での救命講習会を全社員に向け案内、社員が救命処置できる体制を推奨し拡充を図る(15名が修了書を取得)									9		11		13 13.1			16	
【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ			資本と経営の適切な距離・関係構築に向け定期的な意見交換や状況説明を実施。								8	9								17	

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組		具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
地元スポーツの振興事業		長野バルセイロ関係者の移動用及び物品運搬用として車両貸与(トール) 信州プレイブウォリアーズ関係者の移動用及び物品運搬用として車両貸与(グランマックス・ハイゼットトラック) 佐久長聖女子サッカー関係者の移動用及び物品運搬用として車両を貸与(グランマックス)			3	4							11						17
自社独自のS(信州)D(ダイハツ)G(ギフト)s(車検)を展開し、お客様とともに取組む活動		2023年4月より、社会問題を解決すべく自社独自の活動として、お客様に3つの活動を選択していただき、車検の売上金の一部を寄附する取組。寄附だけでなく、社員による人的支援も実施。 3つの活動(自然環境・地域活性地産地消・女性の活躍)					5					10	11	12		14	15		17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前の【予定】を選択入力してください。）

・【非該当】欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合に選択入力し、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエッセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は黒字、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、赤字で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
- ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
- ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定